

# 2008年3月期第1四半期 連結業績報告

---

C  BIRD HOLDINGS

株式会社サイバードホールディングス

2007年8月9日

## 連結業績トピックス

1. 四半期売上高が過去最高更新、収益面堅調
2. コンテンツ事業の成長性・収益性堅持
3. 化粧品通販(コマース事業)での前期来の広告効果が収益に寄与
4. 成長領域は引続き収益化に向けた施策強化を継続

## 2008年3月期 第1四半期 連結業績(四半期サマリー推移)

CYBIRD HOLDINGS

### 四半期売上高過去最高更新、収益面堅調に推移

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY06 1Q	FY06 3Q	FY06 4Q	FY07 1Q	前1Q 比増減	前1Q	主な要因
						比率	
売上高	4,031	7,608	7,512	7,655	3,624	189.9%	3QよりJIMOS連結 ▶コンテンツ前年比2億円(8%)増、 コマースはJIMOS連結にて28億円増 ▶ソリューション2億、広告3億円増
売上総利益 (対売上比率)	1,665 (41.3%)	3,570 (46.9%)	3,566 (47.5%)	3,382 (44.2%)	1,717 (2.9pt)	203.1%	▶当1Qはコマース事業での季節要因 による売上構成変化等にて、前下期比 売上総利益率は若干低下
営業利益 (対売上比率)	37 (0.9%)	306 (4.0%)	135 (1.8%)	338 (4.4%)	300 (3.5pt)	902.9%	▶広告宣伝費はじめ効果的なコスト コントロールによる経費率の低下 ▶のれん定額償却の前期比減少
経常利益	307	256	136	286	593		
四半期 純利益	270	47	5,599	53	324		▶当1Qは法人税及び法人税等調整額 計2.2億円計上
EBITDA(注)	301	656	463	566	265	188.0%	▶当1Q減価償却費 145百万円 のれん定額償却 83百万円

(注) 営業利益 + 減価償却費 + のれん定額償却

## 2008年3月期 第1四半期 連結業績(セグメント別売上高推移)

C BIRD HOLDINGS

### 四半期毎 セグメント別売上高推移

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY06				FY07	前1Q 比増減	前1Q 比率	主な要因
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
コンテンツ事業	2,873	2,866	2,960	3,346	3,105	232	108.1%	主力コンテンツ中心に堅調推移 (前4Qに対する反動は毎季節性)
コマース事業	62	91	3,160	2,876	2,925	2,862	4,683.6%	JIMOS通販、特に化粧品通販での 前期来の広告効果が寄与 子会社アウトレットも堅調
ソリューション事業	542	686	892	628	752	209	138.5%	JIMOS通販支援事業やEC関連子 会社コマース21の収益寄与
広告事業	30	38	56	130	351	321	1,146.0%	モバイル広告販売に加え、企業向 け通販広告代理事業が貢献
投資事業	-	143	5	-	-	-	-	当1Qに新たに1社に投資実施 (現在IPO済先含め投資実績7社)
海外事業	522	591	533	529	521	1	99.8%	北米市場での3G系コンテンツの成 長に対する対応に注力中
合計	4,031	4,418	7,608	7,512	7,655	3,624	189.9%	

## 2008年3月期 第1四半期 販売費及び一般管理費

### 販売費及び一般管理費の内訳と推移(四半期連結)

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY06				FY07	直前4Q 比増減	主な要因
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
人件費	528 (13.1%)	467 (10.6%)	935 (12.3%)	915 (12.2%)	923 (12.1%)	8	
広告宣伝費	44 (1.1%)	59 (1.4%)	854 (11.2%)	808 (10.8%)	644 (8.4%)	163	通販事業での広告戦略上の季節的コントロールにより当1Qは減少
研究開発費	230 (5.7%)	234 (5.3%)	236 (3.1%)	241 (3.2%)	248 (3.2%)	6	
支払手数料	448 (11.1%)	410 (9.3%)	501 (6.6%)	591 (7.9%)	574 (7.5%)	17	
のれん償却	95 (2.4%)	93 (2.1%)	180 (2.4%)	176 (2.3%)	83 (1.1%)	93	前期のJIMOSのれん減損により当期は償却額大きく減少
その他	280 (7.0%)	327 (7.4%)	555 (7.3%)	698 (9.3%)	571 (7.5%)	127	前4Qは、グループ事業の一部本社集約等により一時的コスト増あり
合計	1,627 (40.4%)	1,593 (36.1%)	3,263 (42.9%)	3,431 (45.7%)	3,044 (39.8%)	386	

( )は売上高比率

## 2008年3月期 第1四半期 連結業績(セグメント別営業利益)

C BIRD HOLDINGS

単位:百万円(単位未満切捨)

	コンテンツ 事業	コマース 事業	ソリューション 事業	広告 事業	投資 事業	海外 事業	本社	合計
売上高	3,105	2,925	752	351	-	521	-	7,655
営業 利益 (利益率)	732 (23.6%)	150 (5.1%)	101 (-)	46 (-)	14 (-)	10 (-)	370 (-)	338 (4.4%)

コンテンツ : グループ収益源として堅調推移

コマース : 前期来の広告効果にて化粧品通販収益が当1Qも安定、のれん償却負担減少もあり  
営業利益に貢献

ソリューション : 主な事業はモバイルサイト受託開発、通販支援、ECサイト開発関連等  
当事業は人員数比率が高く、同比率按分による間接コスト配賦影響あるが配賦前の主事業は黒字確保  
また、その他低採算事業の見直し、縮小も進行中

海外事業 : 海外子会社のれん(当1Q定額償却53百万円)計上前では、営業利益42百万円確保

本社 : ホールディングスの人件費、上場維持費用(証券事務、監査等)、他配賦不能コスト

単位:百万円(単位未満切捨)

	FY06 期末	FY07 1Q末	前期末比 増減	主な増減要因
流動資産	11,945	12,157	212	
有形・無形固定資産	7,623	7,623	0	
投資その他の資産	3,009	2,949	59	関連会社株式売却等
<b>資産合計</b>	<b>22,578</b>	<b>22,730</b>	<b>152</b>	
負債	7,762	7,933	171	流動負債減少2.5億円(買掛金等) 固定負債増加4.2億円(海外子会社起債)
純資産	14,815	14,796	18	
内 資本剰余金	(14,469)	(9,067)	( 5,401)	前期発生 of 単体欠損補填に取崩充当
内 利益剰余金	( 6,195)	( 789)	(5,406)	同上
<b>負債・純資産合計</b>	<b>22,578</b>	<b>22,730</b>	<b>152</b>	

営業CFトータルはマイナスなるも、EBITDAは堅調、金利・税金支出前では収支プラス

単位：百万円(単位未満切捨)

	FY05 1Q	FY06 1Q	FY07 1Q	主な要因
<b>営業CF</b>	876	216	<b>322</b>	EBITDA堅調、金利・税金支出前は収支プラス
EBITDA	159	301	566	営業利益 338 + 減価償却費・のれん償却 228
運転資本増減等	180	220	484	主に仕入債務、未払金の減少等
金融収支・税金支出	856	297	404	内、法人税支払 344
<b>投資CF</b>	5,398	158	<b>192</b>	主にソフトウェア購入等
<b>財務CF</b>	4,342	265	<b>354</b>	北米子会社の現地社債発行等
<b>キャッシュ増減</b>	1,933	110	<b>150</b>	
現金等換算差額	0	0	9	
キャッシュ期末残高	1,320	1,587	5,013	

(注) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金等換算差額

# モバイル検索エンジン『Mooter』まもなくサービスイン！

顧客の利便性向上、それによる継続利用の促進、そして収益化実現のための様々なサービスの開発と検証に注力の中、第1弾として、モバイル検索エンジン『Mooter』のサービスをまもなく開始



『Mooter』を今後、サイバードが提供する全てのモバイルサービスに漸次、実装(公式・非公式サイト(注))

(注) Mooterの露出展開を可能とする  
想定ユーザー数: のべ1,500万人

## (期待効果)

ユーザーメリットの増大による定着率UP

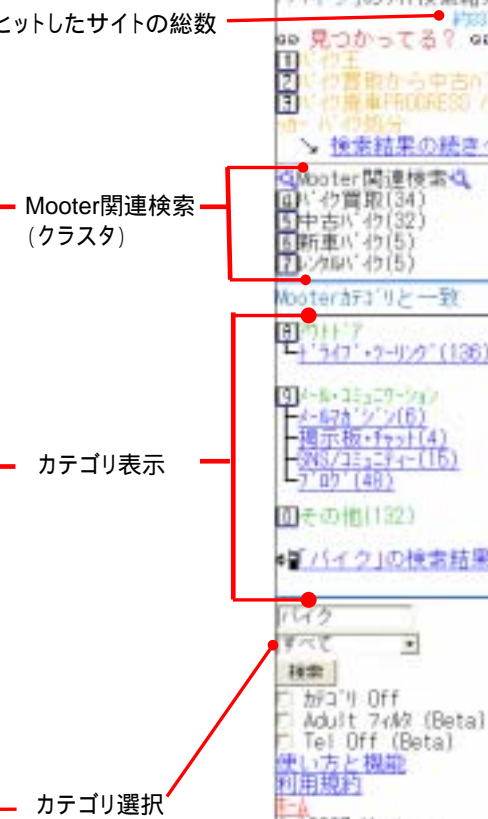
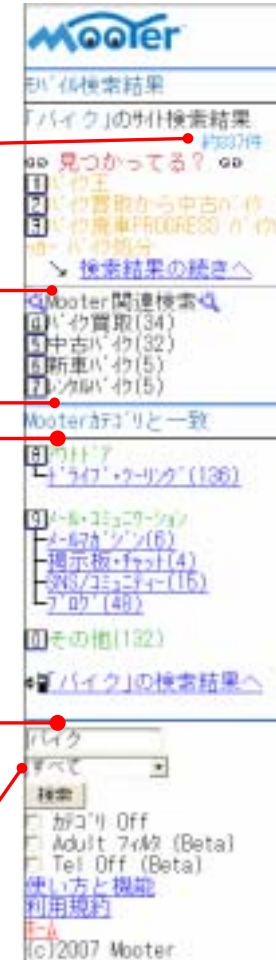
エンタメ系に加え、実用系サービスの提供によるユーザー利用促進とユーザー接点の自然減・消滅の回避  
また継続的な自社サービス案内機会の確保

検索連動型広告の販売開始による収益機会拡大

キーワード  
『着メロ』で検索



キーワード  
『バイク』で検索



- 検索結果画面 -